庁舎は市政の本拠

新しい市役所庁舎ができ上りました。市役所と消防署の綜合庁舎、鉄筋コンクリート三階（一部二階）建で総面積六百七十六坪です。

ところで――

新しい庁舎ができたものの、それが市の赤字財政の原因となつたのではないのか？

と考えられている方もあることでしよう。しかし、そのような御心配はいりません。それは次の理由からです。

総工事費は約五千六百萬円でした。この工事費は昭和二十八年度に二千五百五十萬円次いで昭和二十九年度に三千萬円と国その他から借入れてそれに当てました。借りた金は返えさなくてはなりません。しかし昭和二十八年度に借入れた二千五百五十萬円を毎年返還して行く元利金のうちの五十パーセント（半額）は火災復興と云うことで年々国から交付されます。

庁舎建設の面ではこのようにめぐまれており、年々返還しなければなりませんが市の赤字とは関係がありませんから御安心下さい。

市役所庁舎は市政の本拠です。永久建築ですから、将来いろ〳〵な人がこの庁舎を本拠として、市の発展と市民の福利増進のために活躍することでしよう。

一昨年の大火以来、新庁舎の竣工まで、市民の皆さまから寄せられました御好意に感謝します。

市民のサービス・センター

あらゆる設備が完備

①建築位置　大館市片町一番地の三外

②床面積　六七六坪七〇
一階　二三四坪一〇
二階　二一七坪三〇
三階　一五九坪六〇
屋階　一三坪〇〇
車寄外　五二坪七〇

③構造　鉄筋コンクリート造地上三階並二階建

④附帯工事
煖房設備　排気設備
給水設備　衛生設備
排水設備　電気設備
電気時計　放送設備

④工期
着工　昭和29年6月1日
竣工　昭和29年12月20日

⑥工事施工者　株式会社　戸田組

⑦設計者　東京信建築事務所　山本　勝己

各階の御案内

一階では部屋が右の平面図の通りになつています。市民の皆さんに最も関係のある一般事務室（一階平面図の1）には何課が事務をとつているか、お知らせしましよう。

総務課戸籍係
商工課
保健課
税務課
会計課
市金庫

以上の課や係が仕事をしています。ですから戸籍謄本や抄本、印鑑証明。税金の相談や納入。国民健康保険、衛生。配給などの御用で市役所へ来られる方は一階へお出で下さい。

二階の一般事務室（二階平面図の8）へは市有財産の払下。統計、公営住宅。生活その他の扶助農林関係。社会、教育等の御用はこゝです。

総務課
選挙管理委員会
調査室
厚生課
社会福祉事務所
農林課
農業委員会
教育委員会

がこの事務室で事務をとつております。

三階は議会関係ですらか市議会の時は傍聴に来て下さい。

庁舎のうつりかわり

いままでの市役所（町役場）は昭和二年に建てられました。鉄網コンクリート二階建四百坪。総工費は一萬五千円でしたから、物価の安い時代でした。翌昭和三年には一昨年大火にあつた公立病院が建てられています。市役所庁舎と病院の竣工と云う面では現在と似かよつています。

当時の人口や役所吏員数を現在のと比較してみましよう。

人口　一五、八三（昭2）
　　三二、五七四（昭30）

役所吏員
泉茂家町長外十七名
佐藤市長外二百二十一名

と数字の上でも大館の躍進ぶりが分ります。しかも三月一日からは、長木村、上川沿村、下川沿村、二井田村、真中村が大館市へ編入され、人口五萬の市役所として名実ともに市民のサービス・センターとしての機能を発揮することになりましよう。

新しい市役所で仕事をするのだから、吏員もそれに応じてよりいつそう能率をあげて欲しい。

と云う声がありました。落成式の時のことです。市吏員は窓口の応対はもとより市民の公僕としての決意を新らたにして、市民の皆さまの御期待にそいたい考えです。事務上のことで御意見や御批判がありましたら調査室の「市政だより」係や総務課庶務係へ申出て下さい。

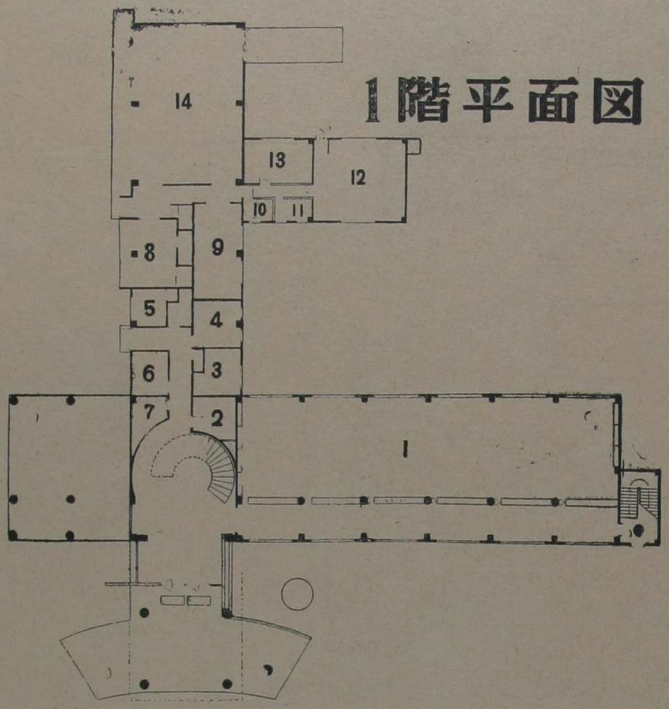
土地売払公告

公立大館病院跡地を分割売払処分するにつき御希望の方は昭和三十年二月五日までに市役所総務課へ申し込まれたい　尚詳細については総務課へ御問合せ下さい

昭和三十年一月二十八日

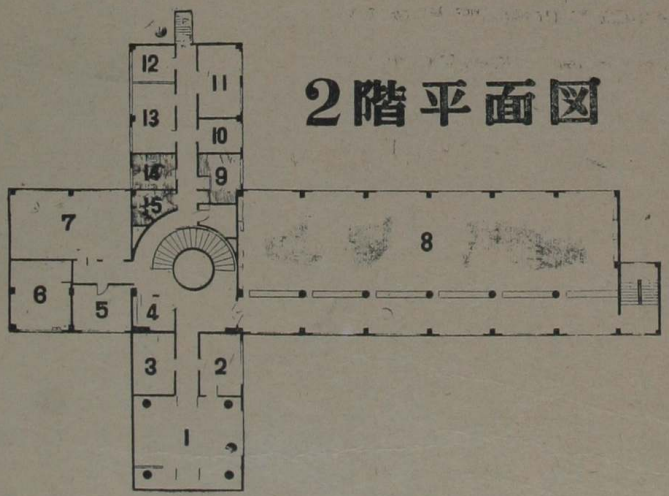
大館市

1階平面図



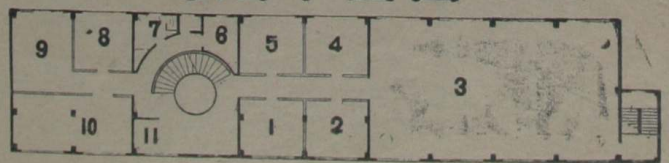
1 一般事務室
2 書庫
3 宿直室
4 更衣室
5 小使室
6 男便所
7 女便所
8 消防署事務室
9 〃 仮眠室
10 〃 便所
11 〃 浴室
12 ボイラー室
13 電気室
14 消防署車庫

2階平面図



1 バルコニー付特別応接室
2 市長室
3 助役室
4 秘書室
5 助役室
6 一般応接室
7 会議室
8 一般事務室
9 電話交換室
10 監査委員室
11 消防本部
12 消防長室
13 選挙管理委員室
14 男便所
15 女便所

3階平面図



1 議長応接室
2 議長室
3 議会議場
4 委員会室
5 委員会室
6 書庫
7 便所
8 委員会室
9 会議室
10 議会事務局
11 新聞記者室